

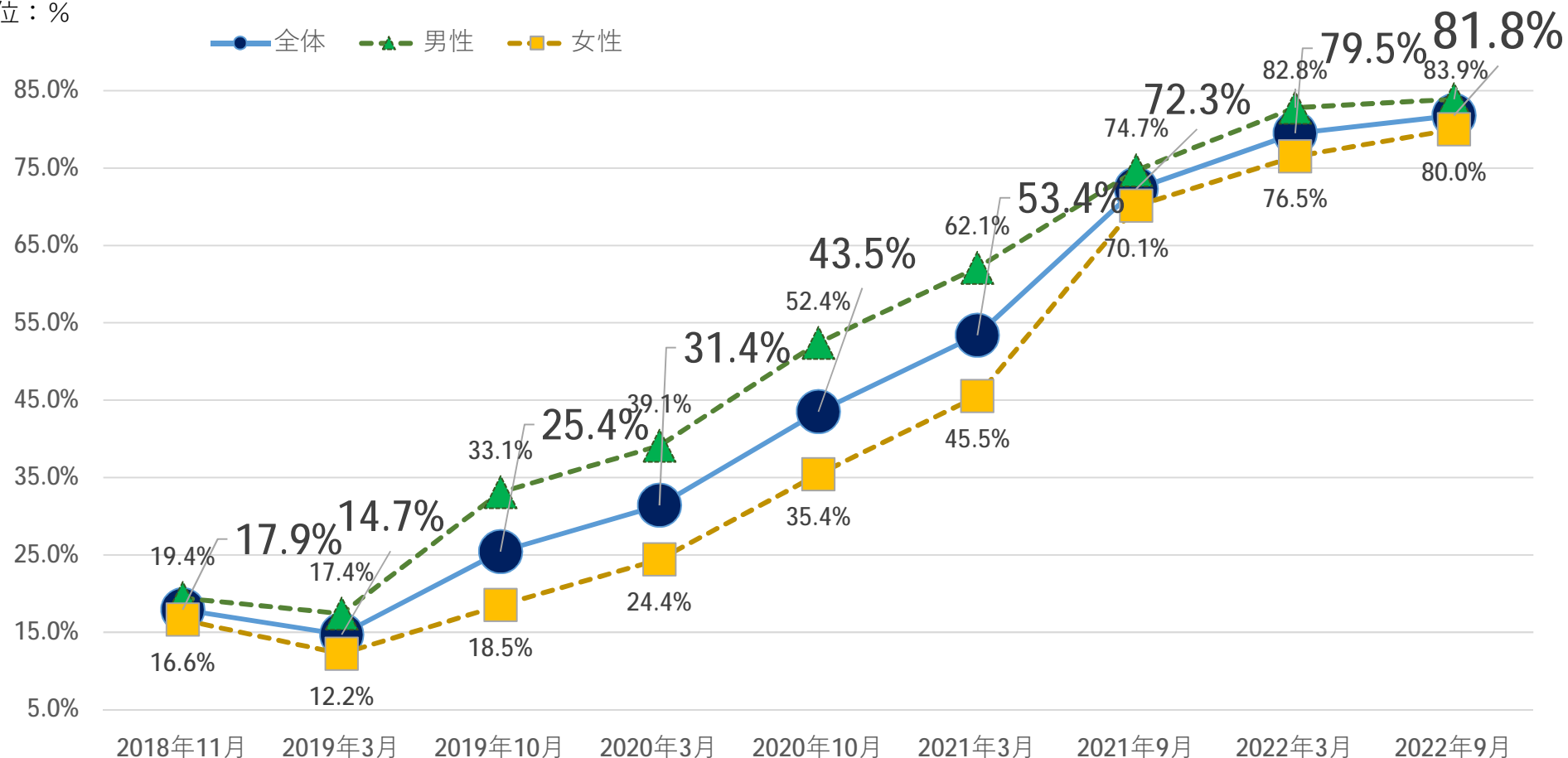
# SDGs認知度調査（Qネット）

## 2022年9月調査

大阪府のネット調査（大阪Qネット）を活用して、府民を対象にSDGsの認知度を調査  
（対象者条件：18歳以上の男女、サンプル数：1,000名）

## 府民全体の認知度は、**81.8%**（2022年9月時点）。

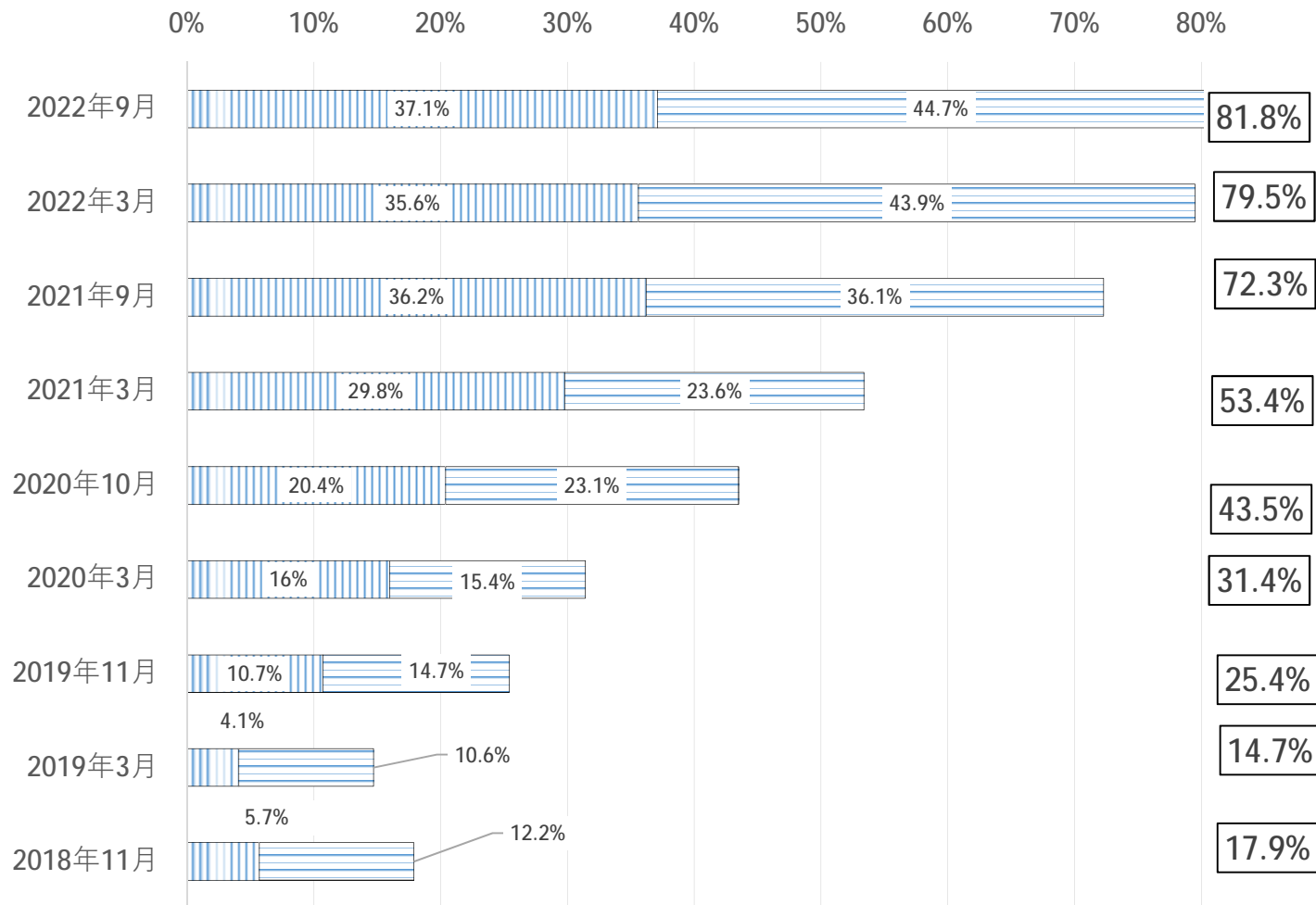
単位：％



※「SDGsを知っている」と「SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある」の合計をSDGsの認知度としている。

○SDGsの認知度の内訳をみると、「SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある」の割合が高い。

## ■SDGs認知度（全体）

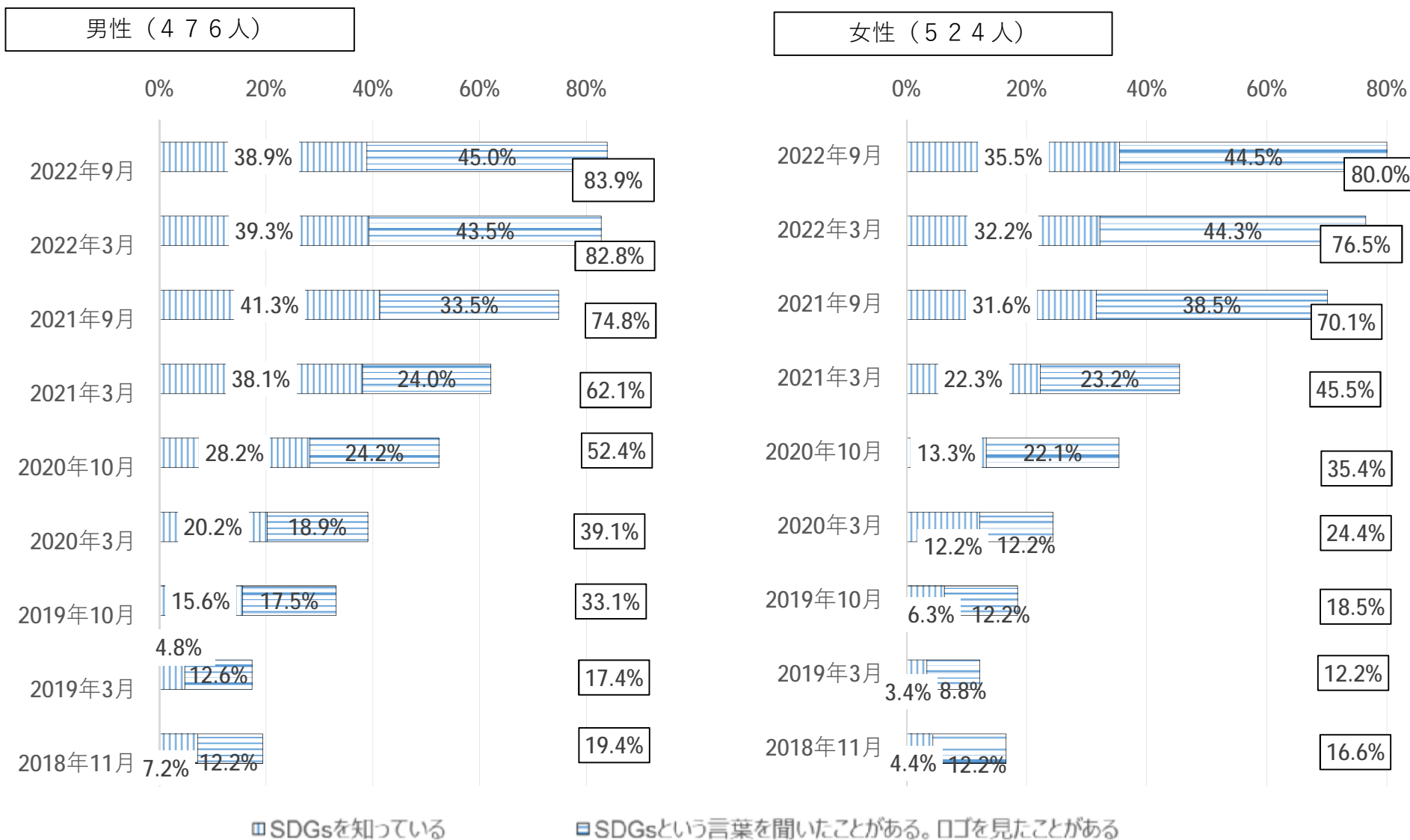


■ SDGsを知っている

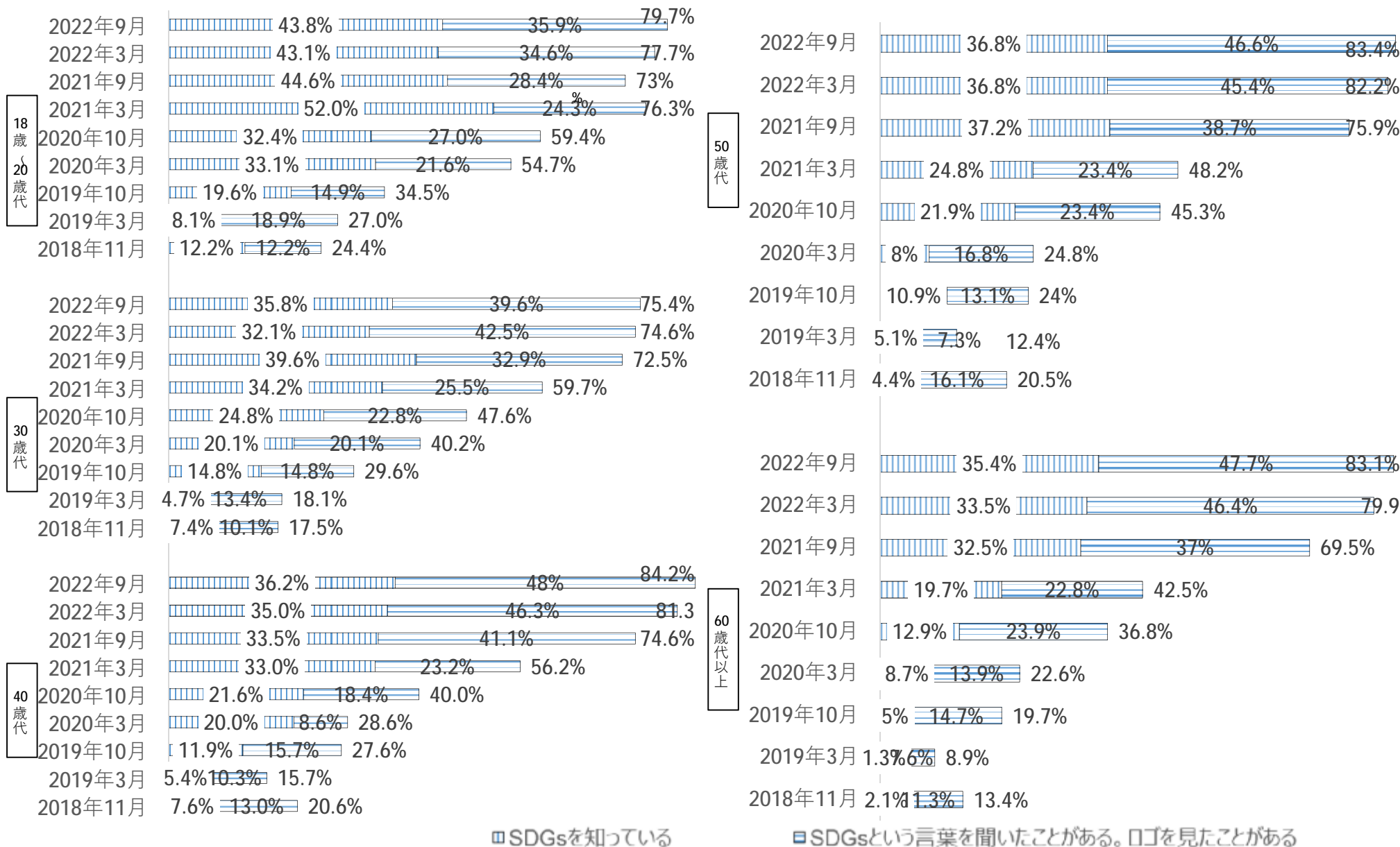
■ SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある

○男女別では、男性の認知度が高い傾向にあるが、男女別認知度の差は縮小している。

（男女別認知度の差　今回調査：**3.9**ポイント　前回調査：**6.3**ポイント）



○年齢別は、すべての年代で認知度が上がっているが、**40歳代～60歳代**の認知度は**80%**を上回っている。



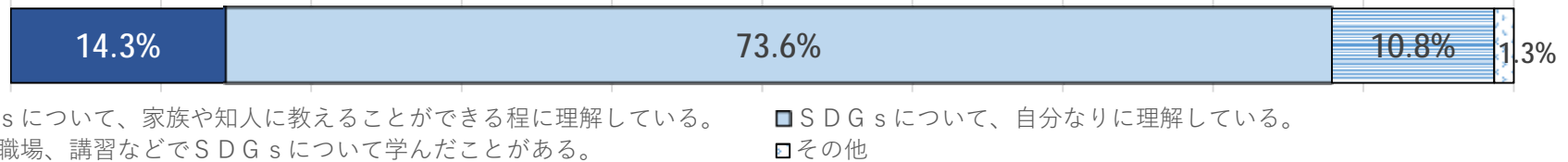
■ SDGsを知っている

■ SDGsという言葉聞いたことがある。ロゴを見たことがある

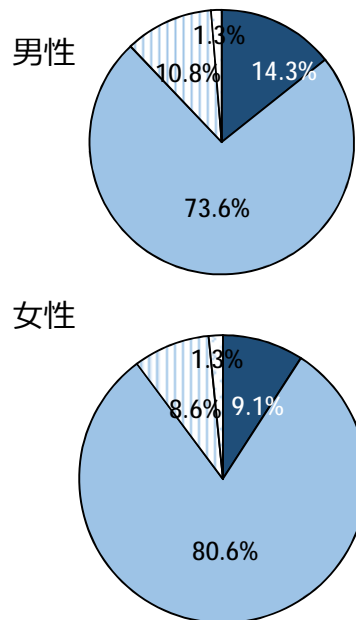
○「SDGsを知っている」と回答した方のうち、「SDGsについて自分なりに理解している」の割合は**73.6%**と最も高い。

○男女別、年齢別ともに傾向の差は見受けられない。

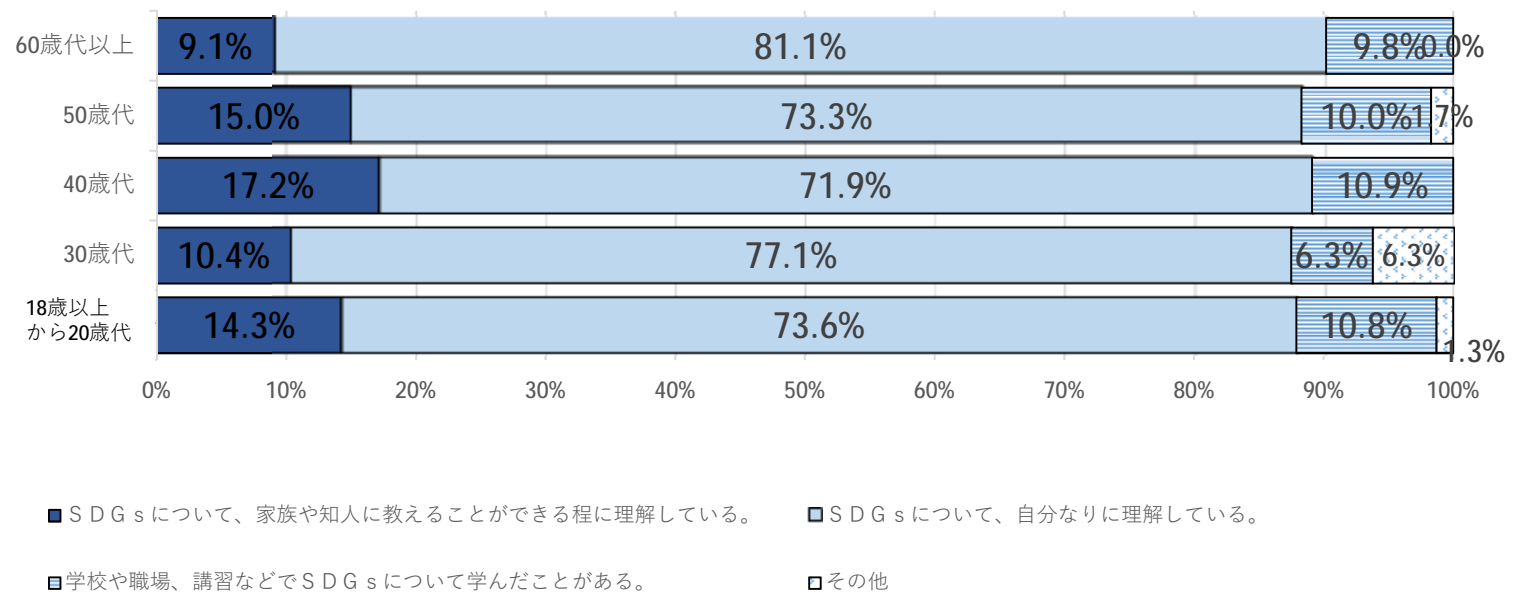
## ■SDGsの理解度



## ■男女別の理解度

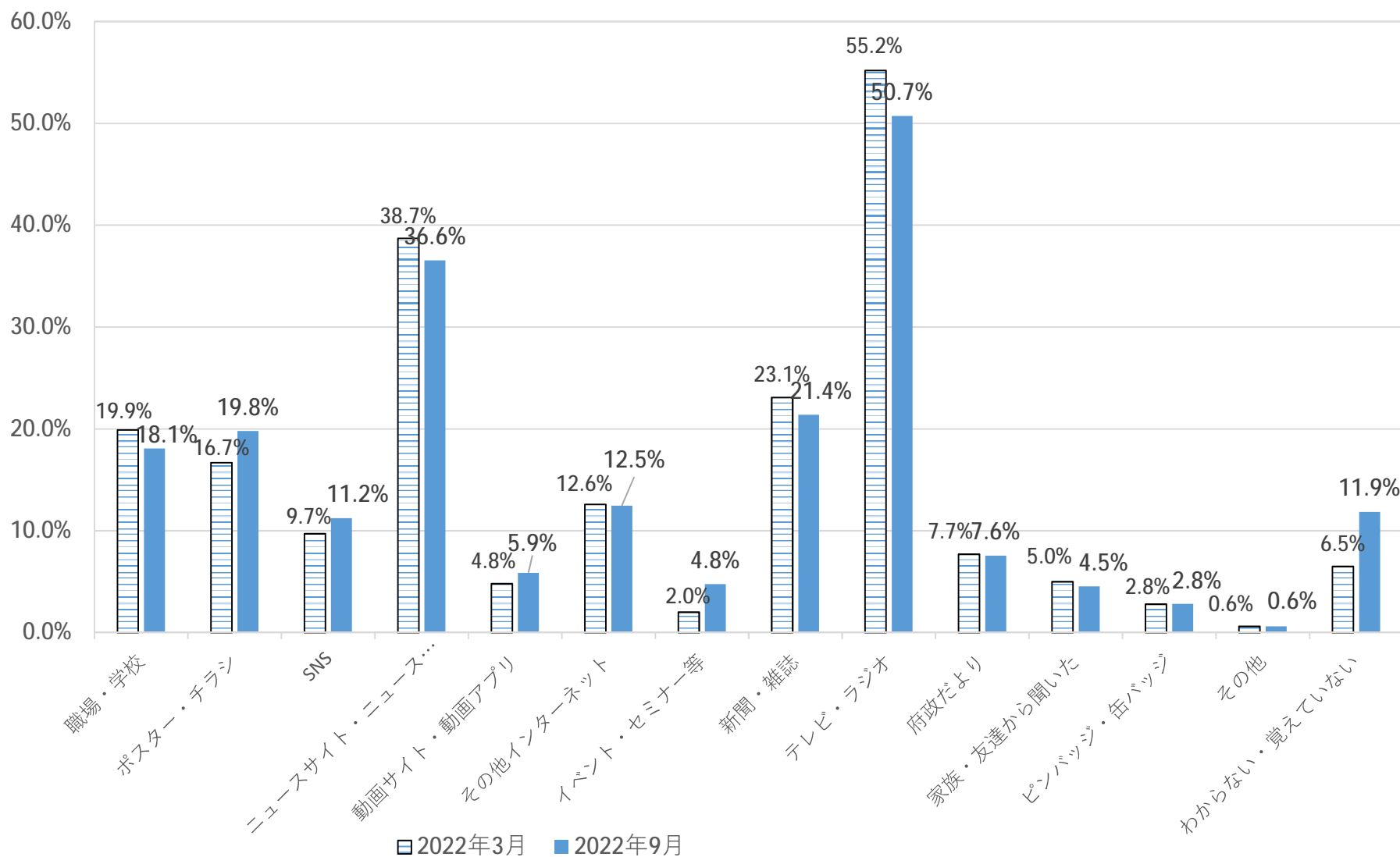


## ■年代別の理解度



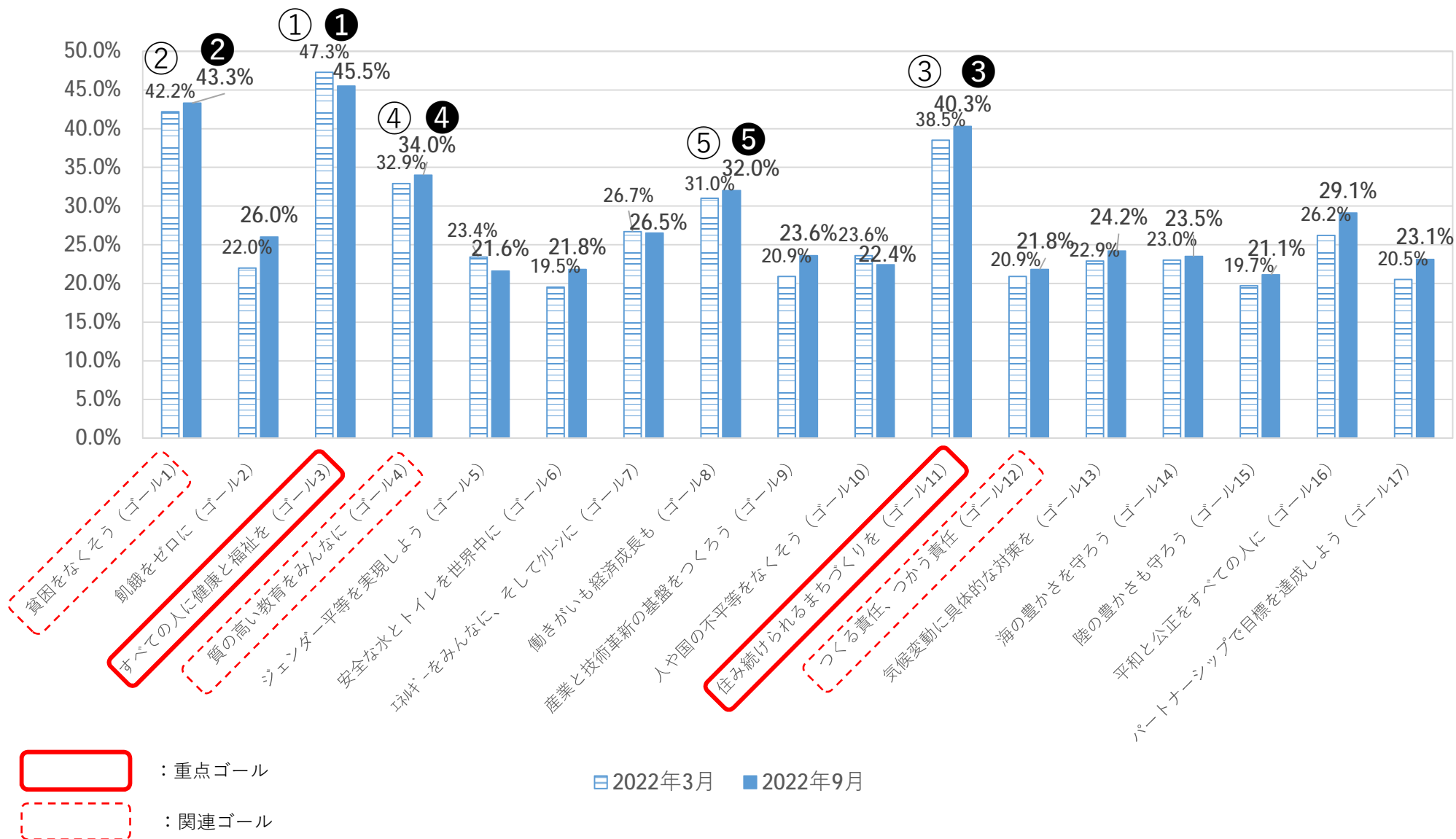
- SDGsについて、家族や知人に教えることができる程に理解している。
- SDGsについて、自分なりに理解している。
- 学校や職場、講習などでSDGsについて学んだことがある。
- その他

- SDGsを知るきっかけは、「テレビ・ラジオ」が最も高く、次いで「ニュースサイト・ニュースアプリ」が高い。
- 前回調査と比較すると「わからない・覚えていない」が、**5.4%**増加している。



# 大阪で重要と思うゴール（複数選択可）

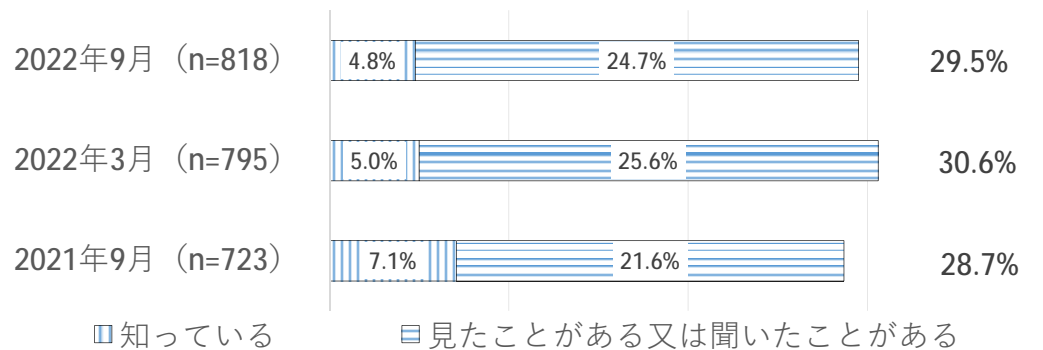
○重要だと思う高いゴールの順位は、昨年度と大きな変化は見られず、依然、大阪SDGsビジョンに掲げる重点ゴール3・ゴール11、および関連ゴールのうちゴール1・ゴール4への関心は高い傾向にある。



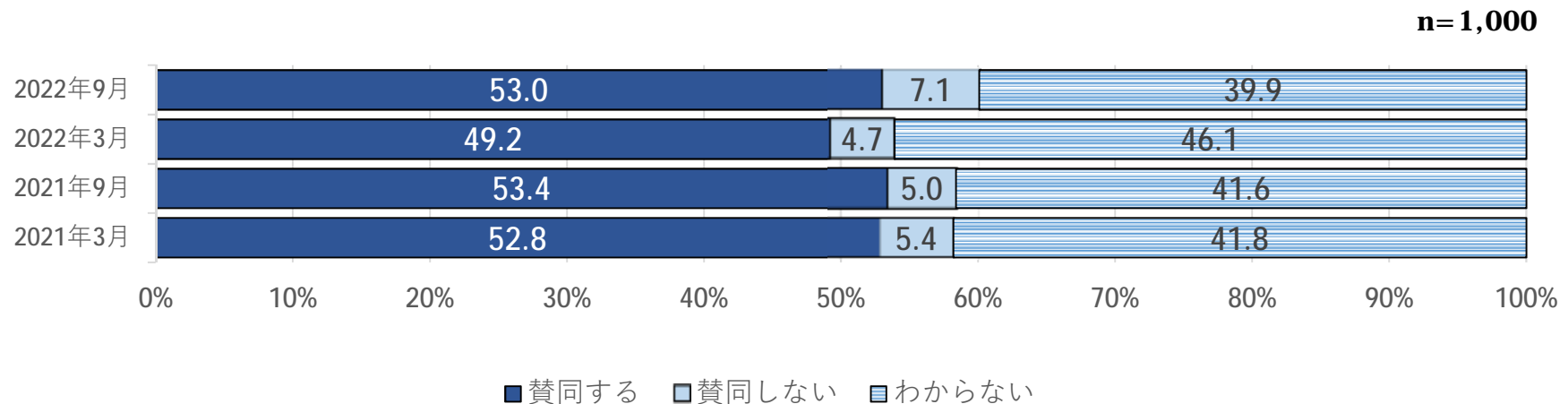


- 大阪SDGs行動憲章の認知度は、**29.5%**。
- 大阪SDGs行動憲章の趣旨に賛同していただける方は、**60.1%**。

## ■大阪SDGs行動憲章の認知度

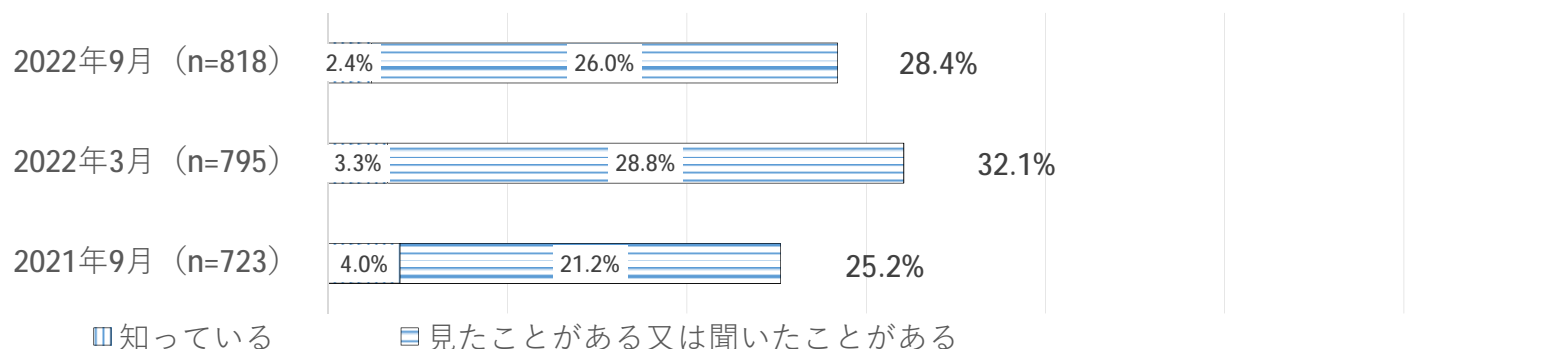


## ■大阪SDGs行動憲章の趣旨への賛同率

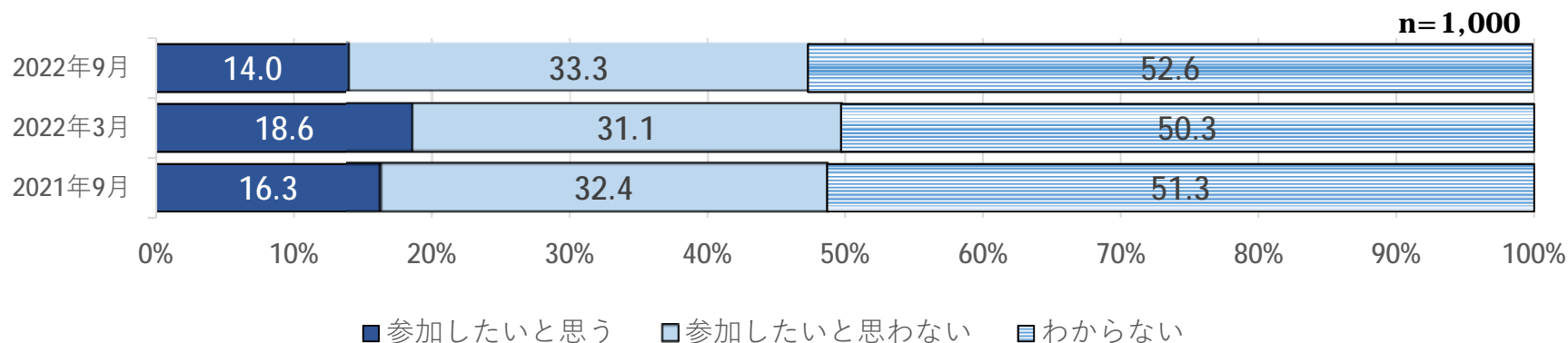


- 私のSDGs宣言プロジェクトの認知度は、**28.4%**。
- 私のSDGs宣言プロジェクトに参加したいと思う方は、**14.0%**。

## ■私のSDGs宣言プロジェクトの認知度



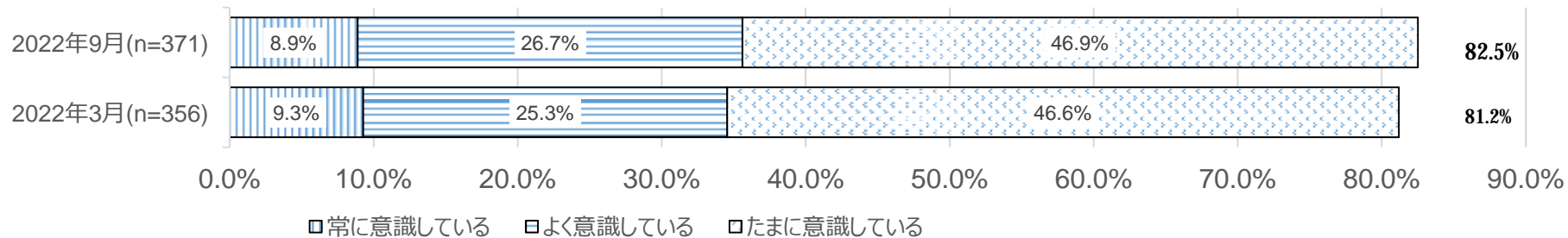
## ■私のSDGs宣言プロジェクトへの参加意思



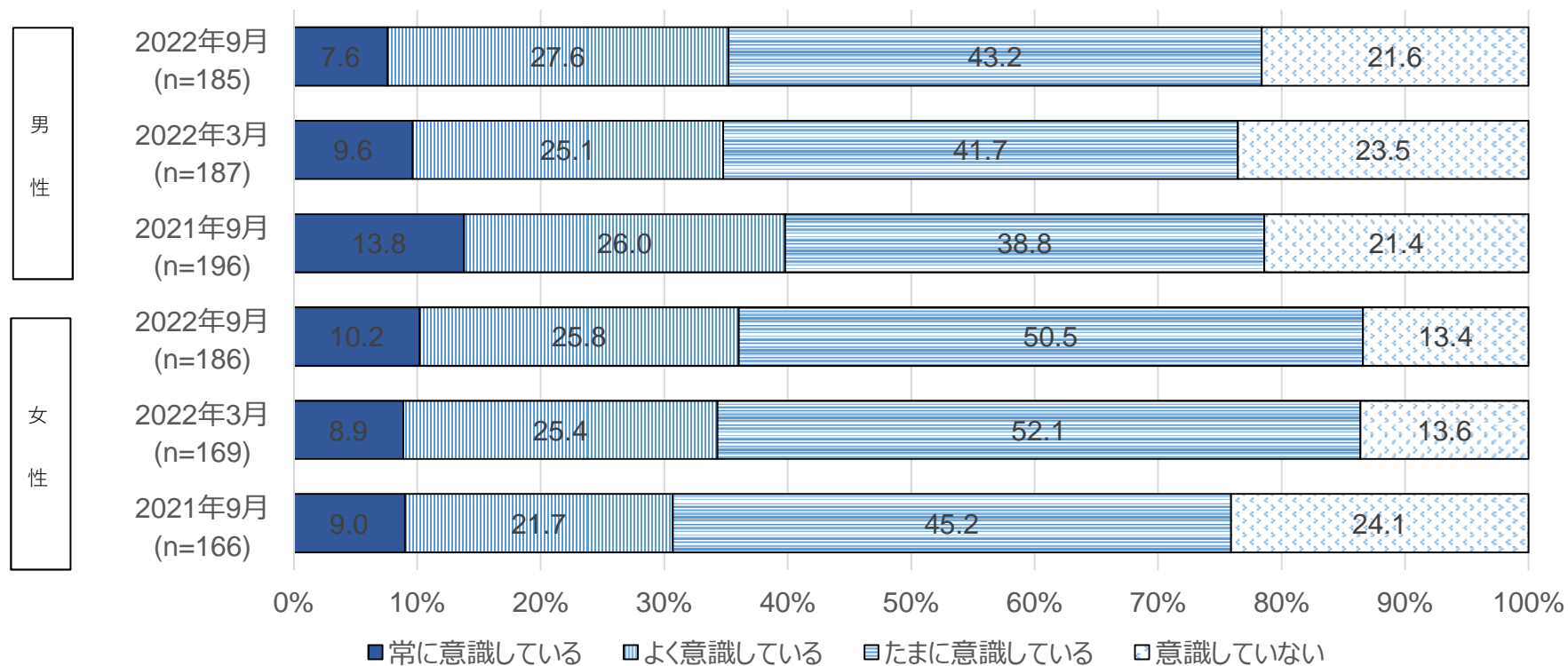
○SDGsを知っている方のうち、「常に意識している」、「よく意識している」、「たまに意識している」の合計は、**82.5%**。

○男女別では、女性の意識度が高い傾向にある。

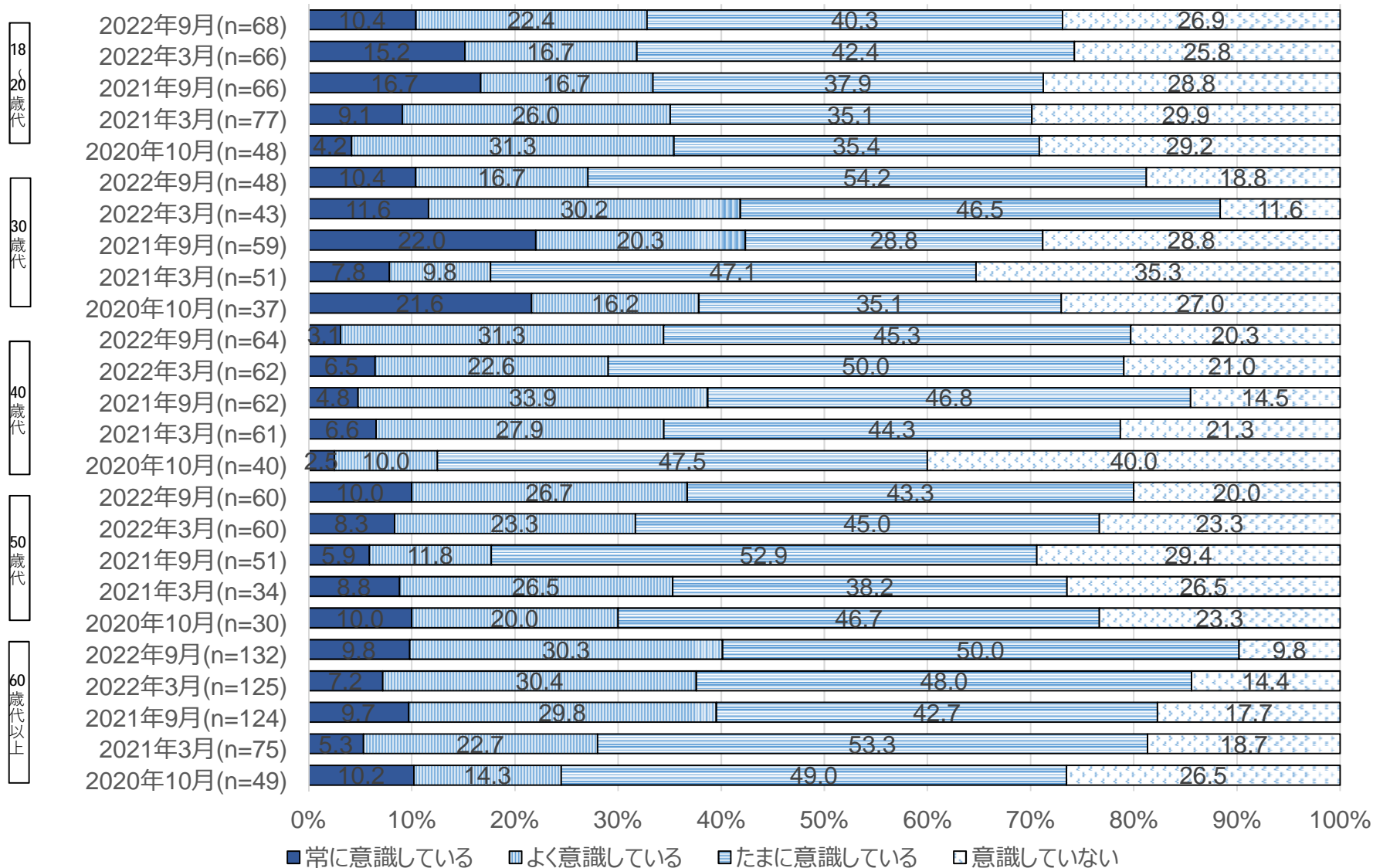
## ■SDGs意識度（全体）



## ■SDGs意識度（性別）

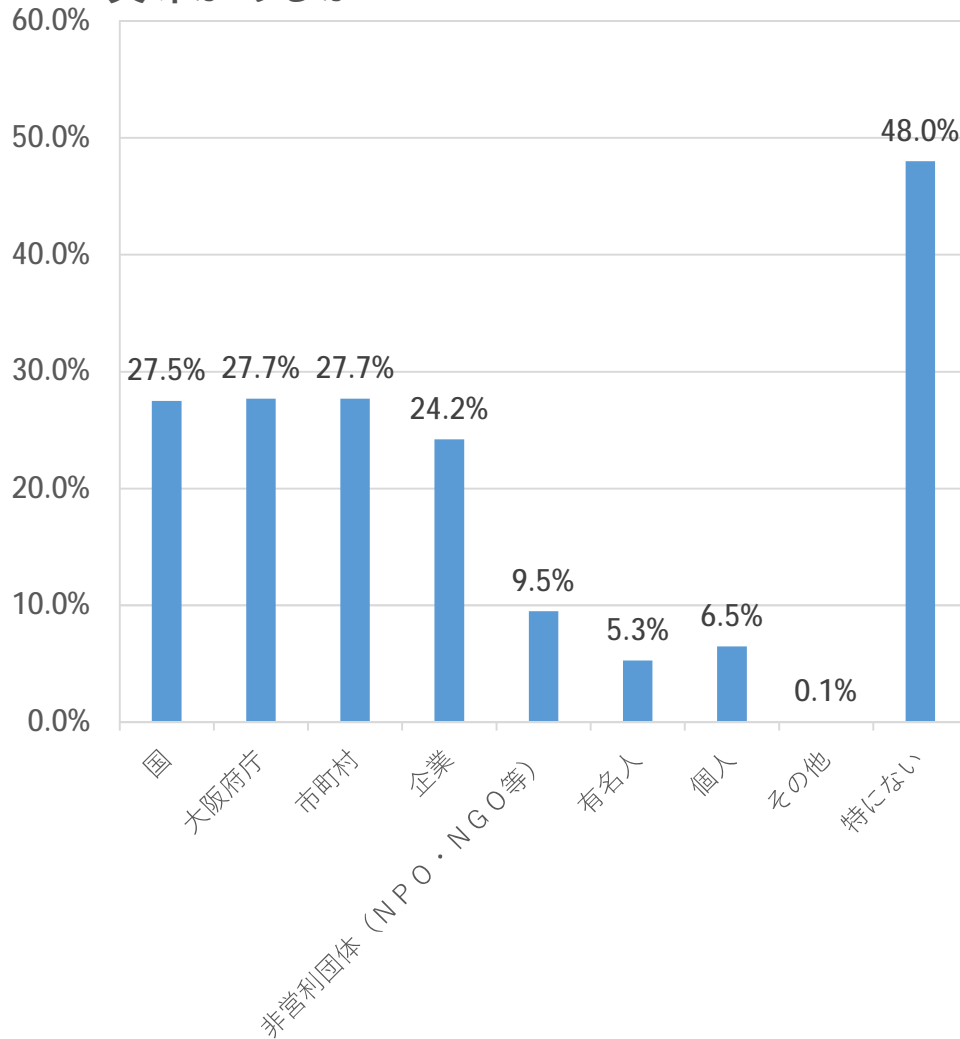


○年齢別では、SDGs意識度の差は見受けられない。

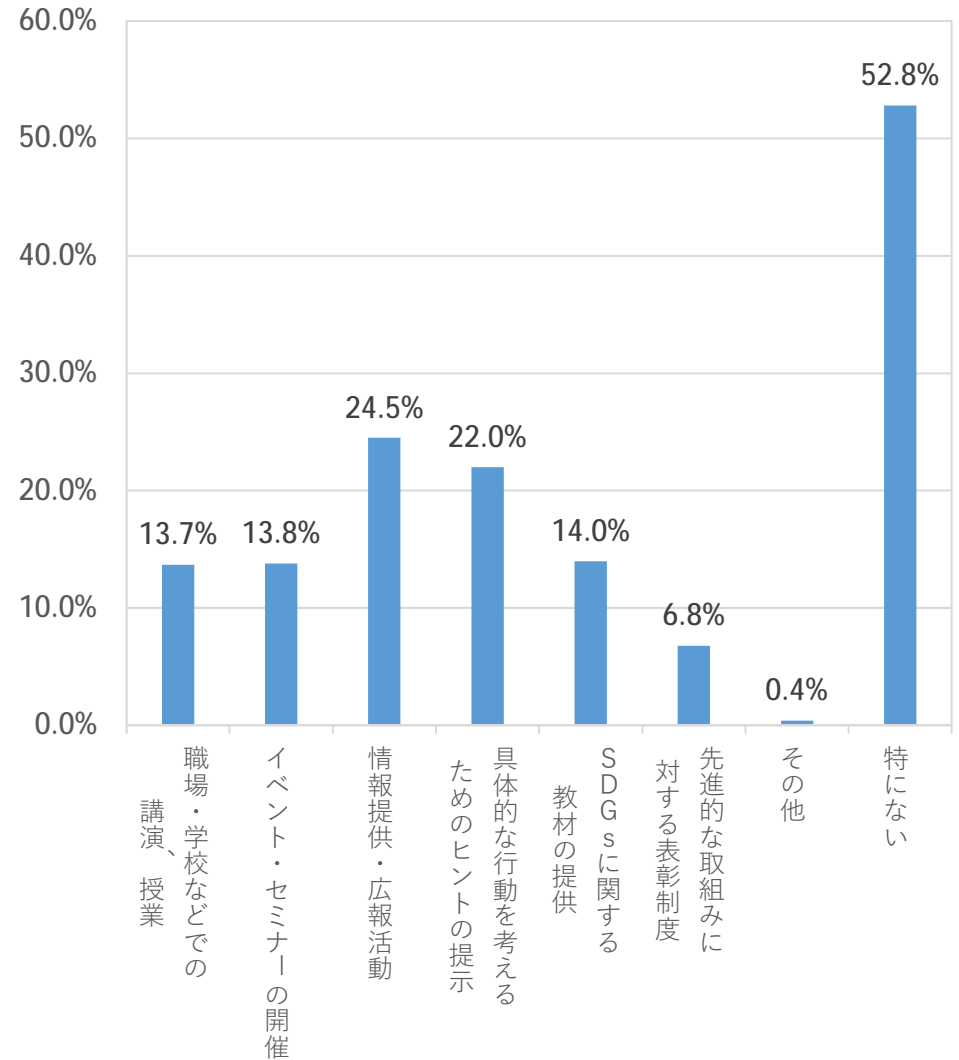


○ といった団体等が行う取組みについて興味があるかについては、「国」、「市町村」、「大阪府庁」の割合が高い。  
 ○ **SDGs**を広めるため大阪府に期待する取組みは、「情報提供・広報活動」、「具体的な行動を考えるためのヒントの提示」の割合が高い。

■ といった団体等が行う取組みについて興味があるか



■ 大阪府に期待する取組み



- ・節電、節水などを心がけエネルギーを大切に使うようにしている。ゴミの分別など。
- ・無農薬農業に取り組んでいる。
- ・食品の廃棄がないように必要最低限のものだけを買うようにしている。
- ・ゴミの分別やエコバッグ持参など。
- ・エコバッグやマイボトルを利用する。
- ・家電などの故障は修理して使う。
- ・ゴミの分別や、必要以上のものは買わない。節電節水。
- ・日々、環境に優しい生活を意識しながら過ごしている。男だから女だからという決めつけはせず子育てをしてきた。
- ・消費期限は、日にちが、近いものを選んで買うようにしている。
- ・物を大事にしたり、リサイクルに取り組むなど日常の中で小さなことから取り組んでいます。
- ・ゴミの分別、ゴミの削減を意識している。電気はこまめに消したり、エアコンの設定温度を調整し、節電に努めている。
- ・環境にやさしい商品購入やフェアトレードの商品を購入したり、エネルギー節約を意識。  
節電を心がける、食材は残さず使い切る、歩いて行ける距離は歩く。
- ・エネルギー使用の無駄、海の環境汚染を減らす生活行動。
- ・資源となるゴミへの対応。CO2排出の削減。節電、節水等地球資源を大切に使用。ジェンダー平等、性の多様性への理解。
- ・過剰包装をしてもらわない、エコバッグを利用するなど。
- ・エネルギーの使い方を見直し、節電に取り組んでいる。
- ・社会的マイノリティの考えを理解する。
- ・買い物の際は、エコバッグを利用している。エコパッケージを採用している商品を買う。
- ・作る責任 使う責任を自覚して リサイクルやリユース リフォームに取り組み それを実行する企業を応援している。
- ・エコバッグを持って食べ物を捨てないように電気も節電してる 外出は自転車で行く。
- ・資源ごみ スーパーの物を手前からとる 食品ロスを出さないよう努力する ゴミを出来るだけ少なくする。
- ・食べ残しは出さないように必要な分だけ購入し、購入したものは食べきるようにしている。
- ・ゴミを出さない工夫
- ・フードロスをなくす。公共交通機関を使う。ゴミをできるだけ分別する。
- ・3 Rの実行 ジェンダーレスやボーダーレスの理解。
- ・他の国のことを知る。
- ・フードロス・排水に気を付けて海を汚さない。
- ・企業のSDGs活動に関心を持っている。
- ・ペーパーレスを心がけている。
- ・エネルギーの無駄遣いをしない、ごみを増やさない、地産地消など日常生活で考えられる無駄を省くなど。
- ・なるべく地元で作った食材を買う様にしている。食品を無駄なく使いきる様にしている。
- ・働き方改革を始めとする格差是正。